



大人気のミニSL

五色湖まつり (10月7日)

第21回五色湖まつりが山瀬ダム多目的運動広場で開かれ、たくさんの方々連れなどにごわいました。

好天に恵まれた会場では、ミニSLや二ジマスのつかみ取りのイベントが催され、参加した子どもたちは笑顔いっぱい楽しんでいました。

来場者は赤や黄色に色付き始めた山々を眺めながら、五色湖に訪れた秋を満喫していました。



点字って面白いね

ボランティアフェスティバル (10月7日)

第25回ボランティアフェスティバルが「少しの勇気で大きな笑顔」をテーマに、北部シルバーエリアで開かれ、たくさんの方々にごわいました。

今年は68団体が参加。手話や点字、ものづくりなど、10カ所の多彩な体験コーナーのほか、吹奏楽団に手話研究会と聴覚障害者が加わった演奏などの催しを披露して、訪れた多くの来場者に福祉活動の大切さをアピールしていました。



本場の味を楽しみに待つ長蛇の列

本場大館きりたんぼまつり

in 大館樹海ドーム (10月13、14日)

今年から樹海ドームに会場を移して行われた本場大館きりたんぼまつり。朝方の雨も開場に合わせるかのように晴れ上がり、たくさんの方々が家族連れらで開会式前から入口付近には入場待ちの長い列ができました。

主会場の樹海ドームアリーナでは、本場大館きりたんぼゾーンや新作チャレンジゾーン、センターキッチンゾーンで様々な味付けされたきりたんぼが販売され、屋外では名物の干本焼きや味噌つけたんぼなどが販売され、2日間で約6万食が売り上げられました。



古代米入り塩風味の新作たんぼ

また、ステージでは郷土芸能やダンスなどの多彩な催しでまつりに華が添えられ、約8万6千人の来場者は、大館の食と文化を堪能していました。



お誕生日おめでとう

八子公生誕祭 (10月14日)

大館生まれの秋田犬・忠犬八子公の生誕祭が、JR大館駅前八子公広場で行われ、子どもたちや忠犬八子公銅像及び秋田犬群象維持会など約100人の出席者が89回目の誕生日を祝いました。

献花やケーキカットのほか、最後に南小学校5・6年の児童が唱歌「忠犬八子公」を合唱し、八子公の生誕を祝いました。

秋の市日まつり (10月17日)

おあだて秋の市日まつりが柳町児童公園で開かれ、多くの市民が秋の味覚を求めて訪れました。

この市日は、毎月7の付く日に開催されていて、まつりは春と秋の年2回行われています。

公園には約60店の露店が並び、リンゴやナシなどの果物、マイタケやナメコのキノコ類が所狭しと並べられました。早朝から足を運んだ来場者は、品物を手に取りながら熱心に品定めをして、待ちに待った「秋」を買い求めていました。



秋の味覚を吟味